

「河川技術・流域管理分野 地域課題」（令和2年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
大規模気候データを活用したこれからの河川計画策定に向けた技術開発	京都大学 渡部 哲史	A
<p><研究概要></p> <p>大規模気候データを活用した河川計画策定を可能にする技術を開発する。具体的には、大規模アンサンブル気候データの降水量を入力とした超長期間の降雨流出氾濫モデル計算および水循環モデル計算を実施し、現在・将来気候下の河川流量の統計的性質を示す。更に、このモデル計算結果を基にモデル・エミュレータ開発および情報技術の活用による数値予測の高精度化に取り組む。以上より、気候実験に基づく数千年単位の河川流量推計を河川計画策定に活用する方法論を開拓する。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。